

## 2022年度 第2回理事会議事録

2022年5月12日（木）19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 伊藤伸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	27名
本日の出席理事数	24名
監事総数	2名
本日の出席監事数	1名

■出席役員：会長）宇田英幸、副会長）伊藤伸、茂木有希子 理事）赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、北村ミチル、小池祐士、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、鈴木真弓、高橋啓吾、高橋暢介、田坂翔太、野村健太、原裕如、平田樹伸、丸達也、安永雅美、渡部慶和  
監事）土屋美樹

■委任役員：理事）鈴木康子、吉田朋子

■欠席役員：理事）逸見康子、監事）川俣実

■他出席：分須 暢 法人管理部）駒崎かんな

■他欠席：北部ブロック長）後藤昂 敬称略

### ■議 題：

#### I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

##### 第1号議案 第1回 理事会議事録について【法人管理部：安永】（資料1）

養成教育委員会の岡部理事より人数修正依頼あり、養成教育委員会の内容を一部変更し、満場一致で可決された。

##### 第2号議案 広報誌「彩り」ダイジェスト版印刷・配布の件（再）【広報部：伊藤】（資料2）

前田印刷での発注では495000円かかり、ネット印刷を行い事務局で発送作業を行うことで160000円ほどにおさえられることが分かった。

ネット印刷発注し事務局から発送することで、予算を含め満場一致で可決された。

##### 第3号議案 広報部サポーター（仮）の導入について【広報部：伊藤】（資料3）

広報部で県内養成校学生を対象に、彩りの取材・編集・会議に参加いただくことを検討している。

まずは目白大学の学生さんから開始し、他校にも広めていきたい。

広報部サポーターという名称で、学生に参画していただくことは満場一致で可決された。

会議費規定などに関しては上限を決めていく必要がある。金銭面に関しては継続審議とする。

##### 第4号議案 SNS 運用方針について【広報部：伊藤】（資料4-1.4-2）

県士会の公式SNS（Twitter、Facebook等）を開設しており、運用方針を作成した。ほかの部局のSNSも該当することとなる。文面に出てくる『お問い合わせ』については、HP上のお問い合わせを指している。県士会・当士会との異なる文言がでてくるが当士会で統一とすることとなった。現在運用しているSNSについて運用方針内容を確認し、満場一致で可決された。ホームページ上に公開する。

しかし動画に関しての運用規定は検討していく必要があり、今後バージョンアップしていくこととなる。

#### 第5号議案 2021年度決算、2022年度予算案について【財務部：北村】（資料5）

2021年度決算報告がまとまり、2022年度収入見込み合計26,900,857円（会員1600名で試算）、支出予算20,519,000円、次年度繰り越し6,381,857円の提案となった。

会費収入について、近年の会員数は1500名程度であるため収入見込みは26,000,857円に変更し、次年度繰り越し5,481,857円に修正することで、満場一致で可決された。

#### 第6号議案 第31回学会の開催形態について【学会：神山】（資料6）

学会開催2か月前になり、開催形態を対面・オンデマンド・オンデマンド、またはハイブリットの開催について検討が必要。運営側の負担も考慮し、D：ウェビナー（オンライン）＋オンデマンドで開催準備を進めていくことで満場一致で可決された。

#### 第7号議案 定期総会について【事務局：大橋】

議案書が完成し、資料内容を確認し、満場一致で可決された。内容変更がある場合は5月20日までに申し出る。総会出欠確認を行い、欠席の場合は議決権行使書または委任状をメールで提出いただく方法をとる。

#### 第8号議案 夏キャン参加の大学生への謝礼について【西部：逸見】

昨年度オンラインで夏キャン相談会を行った場合、参加学生に1000円分のクオカードを謝礼としてお支払いした。今年度もオンライン相談会を行う予定で、協力いただく学生に1000円分クオカードで謝礼をお支払いすることで満場一致で可決された。

## II. 報告・確認事項

### 1. 各部署活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より報告事項なし。
- 2) 法人管理部：安永部長より報告事項なし。
- 3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

定期便は5月20日締め切り、6月1日を目安に配信予定。臨時便依頼もあり、発送希望あれば連絡いただきたい。

- 4) 財務部：北村財務部長より以下の報告があった。

決算がまとまりしだい、報告する。現在会計士のチェック中。

コロナの影響でボランティア保険の加入に関して、今後相談していく。

- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

①編集委員会：前田印刷に連絡したが返事は無い。電子化は別の業者に依頼となりそうである。

検討事項：電子化に伴うISSN、ジャーナル名の変更。現在、ジャーナル名を検討している。

「作業療法学芸雑誌」が有力候補となっている。

②学術部：事業報告を4月20日に提出した。職場の変更に伴い研修委員が1名減となった。

③第31回埼玉作業療法学会：演題査読が4月21日に完了し、学会支援委員会へ報告した（演題数16）。

- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

第31回埼玉県作業療法学会 参加者募集中で、抄録作成中。対面開催の準備をしている。

- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

5月26日に協会の生涯教育推進担当者会議に鈴木理事が出席する。

8) 生涯教育委員会：神山理事より報告事項なし。

9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。

5月14日・15日に令和4年度第1回臨床実習指導者講習会（Zoom）開催する。

8月27日・28日の講習会の養成校推薦枠募集開始、一般枠は5/23より開始する。

今月か来月かに養成教育委員会による会議をひらき、実習チェックリストの埼玉県士会での統一化に関して検討する。

10) 職能開発事業部：鈴木真弓理事より以下の報告があった。

5月28日までに8月の臨床実習指導者講習会の申請書を作成する。

11) 広報部：伊藤理事より以下の報告があった。

彩り2022年夏号発行準備を進めている。

SNS運用規定について部内で案を作成し理事会に諮った。

広報部活動への養成校学生参画にむけた準備を行い理事会に諮った。

彩りダイジェスト版の構成、ページ数を見直し、経費の再検討を行い理事会に諮った。

公式Facebook、Twitterからの発信を行っている。

12) 地域リハ推進部：平田理事より報告事項なし。

13) 地域包括ケア推進部：野村理事より以下の報告があった。

リハ専協会・リハ3団体関連の研修予定：6月16日介護予防基本コース、7月2日介護予防実務コース、7月16日地域ケア会議基本コース、7月30日地域ケア会議実務コース

OT協会地域包括ケアシステム推進委員会主催：地域支援事業に関するWEB研修会（6月2日）、平田理事、清水氏、内藤氏、伊藤理事、野村理事が参加予定。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より報告事項なし。

15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。

研修会準備を進めている。

16) 制度対策部：石川理事より以下の報告があった。

令和4年度診療報酬改定情報および疑義解釈等について、県士会HPに情報を掲載している。

17) 各ブロック

・東部：小池理事より以下の報告があった。

第15回リモートで語らNight！当事者講師）：2022年7月28日（木）開催。案内開始した。

・西部：逸見理事欠席であったが、BAND上より以下の報告があった。

第5回夏キャン2022会議を5月9日に実施。

夜の相談会を3回実施。今回は予約制ではなく、ZOOMで誰もが参加できる形で30分を目途に臨床OTと大学生が、会話しているところにチャットで質問できる方法で行うことになった。日程は6月16日、7月27日、8月26日に実施するが6月は南部ブロックが、7月は北部ブロックが、8月は西部ブロックが中心に行う予定で、20：00～各30分くらいを目安に実施予定。養成校の学生には「なぜOTを目指そうと思ったのか」というテーマで話していただけるよう事前に準備していただく。

使用ツール：ZOOMでイマーシブを用いて実施する。

テーマ：こころとからだのスペシャリスト作業療法士って何？

実施方法：事前にトークテーマを準備しておき、チャットにもこたえていく。

チラシが完成した為、チラシを手にした誰もが夜の相談会に参加できるようにチラシ上に夏キャンホームページのQRコードを置き、夏キャンホームページ上にURL・ZOOM IDパスコードを掲示する。チラシは県内の

高校及び近隣他県の高校、及び養成校に配布する。

次回会議は5月24日、各養成校で紹介する動画について話し合いをする予定となっている。

・南部：犬塚理事より以下の報告があった。

夏キャンイベントとしてオンライン相談会を計画している。南部は6月16日の運営を担当。

県学会へ南部ブロック員から座長や当日ボランティアスタッフを派遣する。

南部ブロック座談会に養成校の先生方も参加している。他理事の参加も歓迎である。

・北部：分須氏より報告事項なし。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より報告事項なし。

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より以下の報告があった。

7月8日にこども支援委員会とコラボ研修を行う。

20) 子ども支援委員会：田坂理事より以下の報告があった。

生活行為向上マネジメント委員会とのコラボ研修に向けて準備を進めている。現在、参加申込を受付中。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より報告事項なし。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

6月4日（土）に開催予定のこくら OT 室の準備中。

25) 第31回埼玉県作業療法学会：神山理事より報告事項なし。

26) 埼玉県ハビリ専門職協会：渡部理事より報告事項なし。

## 2. 会長・副会長より

### 1) 宇田会長より

最近の理事会は審議に時間がかかり各部委員会の報告ができていない状況であったが、活動の共有は重要なのでご協力をいただきたい。

報告シートがあるため簡易な内容で良いし、オンラインで月1回の集まりであるためみなさんの声を聴けることが嬉しい。

今年度第1回目の47都道府県委員会が6月11日に開催される。これまで会長と伊藤副会長で参加をしてきたが、理事のオブザーバー参加を募りたい。最近の話題は協会の組織改編に伴う士会と協会の連携の在り方についての検討、組織率強化、倫理対応など。

### 2) 茂木副会長

日々の業務ありがとうございます。無理しないように。

### 3) 伊藤副会長

自分の楽しい作業を大事にしながら楽しく過ごしていきましょう。

## 3. 監事より

### 1) 土屋監事

まだ行動制限が各職場であり大変かと思いますが、息抜きや気分転換をうまく行ってください。

### Ⅲ. その他

次回理事会：2022年 6月9日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時45分閉会を宣した。

2022年5月12日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会